



安全データシート(SDS)

Corium Z211 撥水・防錆コート

発行日: 2015-12-18

改訂日付: 2016-06-01

バージョン: R0001.0001

1. 化学製品および会社情報

A. 製品名

- Corium Z211 撥水・防錆コート

B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途 : 撥水及び防錆用コーティング
- 使用上の制限 : 所定の用途以外に使用しないこと

C. 製造業者/供給者/流通業者情報

- 製造者情報
 - 製造元/供給元 : Corium Industrial Chemicals
- 供給者/販売者情報
 - 供給元/販売元 : 株式会社ITWパフォーマンスポリマーズ & フルuids ジャパン
 - 住所 : 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32
 - 担当部署 : 品質管理部
 - 電話 : 06-6330-7118
 - FAX : 06-6330-7083

2. 危険有害性の要約

A. GHS分類

- 可燃性エアゾール : 区分1

B. 予防措置文句を含む警告表示項目

○ シンボル



- 注意喚起語
 - 危険
- 危険有害性情報
 - H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
- 注意書き
 - 1) 予防
 - P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
 - P233 容器を密閉しておくこと。
 - P240 容器を接地すること/アースをとること。
 - P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 - P242 火花を発生させない工具を使用すること。
 - P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - 2) 対応
 - P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 - P370+P378 火災の場合: 消火に適合の消化剤を使用すること。(SDS5項ご参照)
 - 3) 保存
 - P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 - 4) 廃棄
 - P501 内容物/容器を都道府県/市町村の法令・規則に従って廃棄すること。

C. 有害・危険性分類基準に含まれてないその他の有害・危険性

- NFPA等級 (0~4段階)
 - 保健: 0, 火災: 0, 反応性: 0

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 一般名 : コーティング剤

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
水素処理重質石油ナフサ	Naphtha	64742-48-9	—	—	50-60
ブタン	Methylethylmethane	106-97-8	2-4	—	15-25
プロパン	Dimethylmethane	74-98-6	2-3	—	5-15
鉱油	Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic	64741-88-4	—	—	1-10

*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

4. 応急措置**A. 眼への接触**

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。

B. 皮膚に付着した場合

- データなし

C. 吸入毒性

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。

D. 飲み込んだ場合

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。

E. 急性および遅延性の主な症状/影響

- データなし

F. 応急処置および医師の注意事項

- データなし

5. 火災時の措置**A. 消火剤**

- 炭酸ガス、ドライケミカル、耐アルコール性フォーム

B. 使ってはならない消火剤

- 水(炎を拡散する可能性がある)

C. 特有の危険有害性

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

D. 特定の消化方法

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

E. 消化を行う者の保護

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具(耐熱性)を着用すること。

6. 漏出時の措置**A. 人体を保護するために必要な注意事項**

- 風上で作業して、風下にいる人を非難させること。
- 漏出区域から安全な区域に容器を移動すること。
- すべての発火源を取り除くこと。

B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

C. 浄化方法

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。

- 廃棄物管理法（環境省）により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。
- プラスチック容器を使用しないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

A. 安全な取り扱いのための注意事項

- 設備対策と個人保護具
- 未熟練な人は、この化学製品やその化学製品が入った容器を取り扱わないこと。

B. 安全保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

A. 許可濃度

- 日本許容濃度
 - [Butane] : 500ppm, 1,200mg/m³
- ACGIHの暴露標準
 - [Butane] : TWA, 1000 ppm
 - [Propane] : TWA, 1000 ppm
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : TWA 5 mg/m³, Inhalable particulate matter(Mineral oil, Pure, highly and severely refined)

B. 設備対策

- 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
- 適切な全体換気、局所排気装置を用いること。
- 静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

C. 個人防護具

- 呼吸保護
 - 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 眼の保護
 - 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。
- 手の保護
 - 適切な耐化学性手袋を着用すること。
- 身体の保護
 - 適切な保護服を着用すること。
- その他
 - データなし

9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	エアゾール
- 色	淡褐色
B. 臭い	特異臭
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
G. 引火点	<0℃
H. 蒸発速度	データなし
I. 引火性（固体、気体）	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	データなし
K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	データなし
M. 蒸気密度	データなし
N. 比重	0.71
O. 水/n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	データなし
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし

S. 分子量	データなし
--------	-------

10. 安定性及び反応性

A. 安定性

- 常温・常圧、密閉保管であれば安定

B. 有害反応の可能性

- ほかの可燃性物質と接触して火災を起こす恐れがある。

C. 避けるべき条件

- 直射日光、加熱、火源。

D. 混触危険物質

- 強酸化剤及び強還元剤。

E. 危険有害な分解生成物

- 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

- (呼吸器)
 - データなし
- (経口)
 - データなし
- (眼・皮膚)
 - データなし

B. 有害性

- 急性毒性
 - * 経口毒性
 - [Butane]: GHSの定義による気体
 - [Propane]: GHSの定義による気体
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: ラット LD50 > 5000 mg/kg (IUCRID (2000))に基づき区分外とした。
 - * 経皮毒性
 - [Butane]: GHSの定義による気体
 - [Propane]: GHSの定義による気体
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: ラット LD50 > 5000 mg/kg (IUCRID (2000))に基づき区分外とした。
 - * 吸入毒性
 - [Butane]: ラットLC50 (4時間) 値: 277374ppm (ACGIH (7th, 2001), DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994), 産衛学会勧告 (1993)) に基づき、区分外とした。
 - [Propane]: モルモットでのLC50 (2時間) 値: >55000ppm (4時間換算値: >38890ppm) (ACGIH 7th, 2001) に基づき、区分外とした。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: ラット LC50 = 2.18 mg/L (IUCRID (2000))に基づき区分4とした。
- 皮膚腐食性/刺激性
 - [Propane]: ACGIH(7th, 2001)のヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述から、区分外とした。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: ウサギを用いた試験において軽度の刺激性を認めている複数の報告 (IUCRID (2000)) に基づき区分3とした。
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性
 - [Butane]: データ不足のため分類できない。DFGOT vol.20 (2003)にウサギの眼を刺激しないとの記述があり、ヒトのガス暴露例に眼刺激性は報告されていないが、明確に有害性を否定する記述がないことから、データ不足のため分類できない。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: ウサギを用いた試験により、軽度の刺激性と記述されている報告 (IUCRID (2000)) があることから区分2 Bとした。
- 呼吸器感作性
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic]: [呼吸器感作性] データなし。[皮膚感作性] モルモットを用いた OECD Guideline 406に準拠した複数の試験 (maximization testを含む) において、いずれも感作性なしとの結果が得られている (IUCRID (2000)) ので区分外とした。
- 皮膚感作性
 - データなし
- 発がん性
 - * IARC

- データなし
- * **OSHA**
 - データなし
- * **ACGIH**
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : A4
- * **NTP**
 - データなし
- * **EU CLP**
 - [Butane] : Carc.1A (butane (containing $\geq 0.1\%$ butadiene (203-450-8)));
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : Carc.1B
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : Carc.1B
- **生殖細胞変異原性**
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : 遺伝性疾患のおそれ
 - [Butane] : 細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の結果 (DFGOT vol.20 (2003)、PATTY (4th, 1994)、NTP DB (Access on Oct 2005)) があるが、in vitro試験のデータしかないため分類できなかった。
 - [Propane] : in vitro試験のデータのための分類できない。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : ラットを用いた細胞遺伝学的試験[染色体異常試験] (体細胞in vivo変異原性試験) における異常細胞の増加 (IUCLID (2000)) に加え、職業曝露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察された (IARC suppl.7(1987)) こと、および生殖細胞in vivo遺伝毒性試験の情報がないことに基づき区分2とした。
- **生殖毒性**
 - データなし
- **標的臓器/全身毒性 (単回曝露)**
 - [Butane] : ACGIH (7th, 2001)、DFGOT vol.20 (2003)、PATTY (4th, 1994)および産衛学会勧告(1993)のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え、区分3とした。
 - [Propane] : ACGIH(7th, 2001)のヒトへの影響として麻酔作用を示すとの記述から、区分3(麻酔作用)とした。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : ラットに吸入曝露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化(詳細不明)が用量依存的(1.51~5.05 mg/L)に見られたとの記述 (IUCLID (2000)) に基づき区分2(肺)とした。
- **標的臓器/全身毒性 (反復曝露)**
 - [Butane] : DFGOT vol.20 (2003)のラットを用いた反復吸入曝露試験 (イソブタンやペンタンとの混合物) で毒性が認められなかったとの記述がある。一方、DFGOT vol.20 (2003)にヒトの麻酔目的での反復吸入曝露例の多くに多幸感および幻覚がみられたとの記述から、中枢神経系に影響する可能性もあるが、他に反復曝露で中枢神経系への影響を示唆するデータはなく、データ不足のため分類できない。
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : 長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの曝露を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され (ACGIH (2001)、IARC 33(1984)、EHC 20(1982))、また、疫学調査において切削油への職業曝露により重度の毛嚢炎の発生が報告されている (IARC 33(1984)) ことに基づき区分1(肺、皮膚)とした。
- **吸入有害性**
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
 - [Butane] : GHSの定義による気体
 - [Propane] : GHSの定義による気体
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を起し、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告 (EHC 20(1982)、IARC 33(1984)、ICSC (2001)、ACGIH (2001)) に基づき区分1とした。

12. 生態学的情報

A. 生態毒性

- **魚類**
 - データなし
- **甲殻類**
 - データなし
- **藻類**
 - データなし

B. 残留性と分解性

- **残留性**
 - データなし
- **分解性**
 - データなし

C. 生体蓄積性

- **生体蓄積性**
 - データなし
- **生分解性**
 - データなし

D. 土壌中の移動性

- データなし

E. オゾン層への有害性

- データなし

F. その他の有害な影響

- データなし

13. 廃棄上の注意

A. 廃棄方法

- 油と水の分離が可能なものは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

B. 廃棄上の注意

- データなし

14. 輸送上の注意

A. 国連番号

- 1950

B. 国連輸送固有名

- Aerosols, flammable, (each not exceeding 1 L capacity)

C. 輸送危険クラス (ES) :

- 2.1

D. 包装等級

- データなし

E. 海洋汚染物質

- 該当なし

F. 輸送上の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類 : F-D (Flammable gases)
- 流出時の非常措置の種類 : S-U (Gases (flammable, toxic or corrosive))

G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号

- 126

15. 適用法令

A. 日本国内規制事項

- 消防法
 - 第4類第1石油類(非水溶性液体)
 - * 危険等級
 - II
- 労働安全衛生法
 - * 有機則
 - 第3種有機溶剤(51 石油ナフサ)
 - * 通知物質
 - 法第57条の2、施行令第18条の2第1号 別表9(168 鉱油, 330 石油ナフサ)
 - * 表示物質
 - 法第57条第1項、施行令第18条第1号 別表9(168 鉱油, 330 石油ナフサ)

B. 他の国内および国際法律情報

- 残留性有機汚染物質規制法
 - 該当なし
- EU 分類情報
 - * 分類
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : Carc. Cat. 2; R45/Muta. Cat. 2; R46, Xn; R65
 - [Butane] : F+; R12

- [Propane] : F+; R12
- [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : Carc. Cat. 2; R45
- * 危険有害性情報
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : R45, R65, R46
 - [Butane] : R12
 - [Propane] : R12
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : R45
- * 注意書き
 - [Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy] : S53, S45
 - [Butane] : S2, S9, S16
 - [Propane] : S2, S9, S16
 - [Distillates (petroleum), solvent-refined heavy paraffinic] : S53, S45
- 米国の管理情報
 - * OSHA規定 (29CFR1910.119)
 - 該当なし
 - * CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)
 - 該当なし
 - * EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)
 - 該当なし
 - * EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)
 - 該当なし
 - * EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)
 - 該当なし
- ロッテルダム協約物質
 - 該当なし
- スtockホルム協約物質
 - 該当なし
- モントリオール議定書物質
 - 該当なし

16. その他注意事項

A. 参考文献

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。
- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカ所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。

B. 作成日

- 2015-12-18

C. 改訂回数及び最終改訂日

- 1time, 2016-06-01

D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。